

実施計画事業名		経済活動促進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 サハリン課		課長(主幹)名	佐藤 秀志			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信					
	施策	3	サハリンとの経済交流を促進します					
	関連施策							
現状と課題	サハリンの状況、目まぐるしく変わる複雑なロシアの法制度、サハリンの企業、経済動向が不透明なため、安定的且つ多角的な経済交流を行うことが難しい。							
目的	北海道サハリンの経済交流を活発化し、稚内の経済を活性化する							
5ヶ年展開の施策	①サハリン州を含めた友好都市経済交流促進会議の開催 ②外国人研修生受入事業を支援し、若いサハリンの経済人を育成し稚内との交流のための人材育成に寄与 ③日ロ経済交流協会を支援しサハリンとの交易する稚内企業の支援 ④サハリンプロジェクト情報の収集と稚内港のPR ⑤経済交流の拠点整備の一環として日ロ友好会館の管理運営、その他サハリンとの経済交流推進のために必要とされること							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	ロシア貿易による経済波及効果		億円	目標	150	150	150	
説明	水産商工課において推計			実績	120	110		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	経済交流促進会議、PR活動等、年間取組件数		件	目標	5	5	5	
	説明	1年間に取り組んだ事業の数		実績	14	16		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	12,088	15,524	11,732		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	198	0	0		
	一般財源		千円	11,890	15,524	11,732		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.50	1.92	1.92		
人件費(B)		千円	10,187	13,352	13,352			
計(A+B)		千円	22,275	28,876	25,084			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 これまでのサハリンとの経済活動は、活ガニと中古車の輸出入とサハリンプロジェクト関連資機材の輸出を主にしたものだったが、ここ数年は、サハリンプロジェクトバブルで生まれた富裕層～中間層をターゲットにした経済交流への移行期にあり、民間企業も試行錯誤を重ねている状態である。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) <b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> サハリンプロジェクトが一段落した状況で、サハリン州内のインフラ整備は益々盛んになると予想されており、近年は、サハリン側から建設資材・機械・日用雑貨類の様々な品物見積もり依頼があるものの、昨年の為替レートによるドル安円高の影響や煩雑な輸出手続き業務もあり、思うようにサハリンとの交易に進展しない状況である。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか <b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要
	<bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 稚内・コルサコフ定期航路を活用したサハリンへの小ロットでの物流促進を目指すため、冷蔵・冷凍食品や日用雑貨等の物流輸出を取組む。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要
	<bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 本市の人口減少が続く中、隣国ロシア連邦サハリン州では、大規模なサハリンプロジェクトの恩恵により、極東ロシアで最も購買力がある活気ある地域となっており、サハリンビジネスの可能性を探るためにも業界でのサハリン視察が必要。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか <b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある
	<bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 北海道は、稚内・コルサコフ定期航路を活用してサハリン側に冷蔵・冷凍食品や日用雑貨、重機車両による輸出通関手続きなどの実証実験を行うことから、本市も北海道で連携を図りながら、地元稚内側の企業から小ロットの輸出に向けて取組む。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>b</b>	細事業の進め方	<b>b</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 港湾課とも連携しながら、物流の促進に積極的に取り組む。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--